

第368回三木市議会定例会 市長 開会あいさつ

令和3年11月29日

議会の開会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本日は、第368回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆さまにおかれましては、公私ご多用の中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、平素から市政の運営につきまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

師走を目前にして、朝晩がめっきり冷え込む季節となつてまいりました。

三木山森林公園をはじめ、金剛寺、慈眼寺、伽耶院、吉祥寺、法光寺など三木市の紅葉の名所では、深まる秋を楽しもうと多くの観光客の皆さまにお越しいただきました。

これから本格的な冬の到来とともに、空気が乾燥してまいります。

気になる新型コロナウイルスの感染状況は、県内におきましても直近では1桁台の新規陽性者数で推移しており、現在のと

ころ落ち着きを見せておりますが、兵庫県では、第6波への備えとして、夏の第5波の教訓を元に病床数の拡大や保健所職員の増員など医療提供体制の強化がなされているところです。

市におきましても、自宅療養者に対する相談ダイヤルを10月から開設し生活の困りごと相談に応じておりますことに加え、12月からは、希望される方へ食料品や衛生材料の宅配、パルスオキシメーターの貸し出しを、県の健康福祉事務所と連携して実施する予定としております。

また、コロナワクチンの接種につきましては、2回の接種を終えた約6万人の市民の皆さま全員に、円滑にかつ安心して3回目の追加接種を受けていただけますよう、接種券の発送準備、予約コールセンターや集団接種会場など、接種体制を整えてまいります。

これから本格化な忘年会シーズンを迎えようとしています。

市民の皆さまにおかれましては、改めまして感染防止のための3つの基本、いわゆる「マスクの着用」、「こまめな手洗い」、「身体的距離の確保」を引き続き実践していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

さて、通算4回目となる市政懇談会は、今年も各地区の区長

様などの協力を得て、市内10地区で開催することができました。

緊急事態宣言下にあった9月実施分の口吉川地区と三木南地区につきましては、残念ながら書面開催となりましたが、市政懇談会に代わる意見交換会を、三木南地区については10月8日に実施し、口吉川地区については12月3日に実施する予定としております。

これまでから申し上げておりますとおり、市政懇談会の開催趣旨として、1つは、市長をはじめ市の幹部が、市民の代表である区長等市民の皆さまの声を直接聞くということ、2つは、地域の皆さまが、自ら住む地域を良くするため、自ら考えるという住民自治本来の姿を醸成することにあります。

地域の理解なくして市政の発展はあり得ないという思いを一層強くいたし、これからも気持ちを引き締め、公務に当たってまいりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

もう一点、市的话题を申しあげます。

11月20日に、スナッグゴルフ対抗戦JGT Oカップ全国大会が、三木ゴルフ倶楽部を会場として開催されました。

全国から勝ち進んだ21校105名の選手が三木市に集まり、

熱戦を繰り広げました。

三木市からも、自由が丘東小学校、志染小学校、広野小学校の3校から17名の選手が参加しました。惜しくも入賞は叶いませんでしたが、県内外の強豪校選手とプレーを交えたこと、国内外で華やかな成績を残すトップレベルのプロゴルファーとプレーできたことで、ゴルフへの関心もより強くなったことと思います。

この大会につきましても、春高・春中ゴルフ同様、本市で恒久的に開催していけますよう、今後も市を挙げてジュニアゴルファーの聖地化と育成に取り組んでまいります。

さて、このたびの市議会定例会は、条例関係が4件、補正予算関係が6件の併せて10件の提案を予定いたしております。

後の提案理由でも申しますが、一般会計補正予算のうち第7号につきましては、先に述べましたコロナワクチン3回目の追加接種の体制整備の他に、国の予備費を活用し、18歳以下の子どもがいるご家庭へ1人当たり5万円の未来応援給付金を、まずは中学生以下のお子さんを対象として、年末までに支給開始できますよう、早急な予算成立が必要となりますので、本日のご審議、ご議決をいただきたい案件となっております。

その他の議案につきましても、どうか慎重なるご審議をいただき、ご決定を賜りますようお願い申し上げまして、開会のあいさつといたします。